

H26. 2. 22

# 生活習慣病の早期発見



**長尾和宏 (ながお・かずひろ)**  
 東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る、総合診療を目指す。医学博士。近著「平穏死・10の条件」「胃ろうという選択、しない選択」はいずれもベストセラー。関西国際大学、東京医科大学客員教授。55歳。

Dr.

## 和



「健診」シリーズ①

町医者をしている、と健康診断や人間ドックについてよく質問をされます。「たまには健診を受けた方がいいのか」「健診で異常を指摘されたが、どうすればいいのか」今回から8回にわたって健診について書きます。町医者者が本音で語る健診事情です。

まず、健診とは何でしょう

## 人間ドック、企業健診の活用を

と呼ばれます。

一方、よく似た言葉に「検査」があります。検査は特定の病気を発見することで、予防医学では「2次予防」と呼ばれて区別されていますが、ここでは両者を厳密に区別せずに書いていきます。

医療費の点で見ると、健診は自費で行う検査です。もし自覚症状があれば、健康保険で検査を受けることができます。しかし自覚症状がないのに検査をすることは保険診療の規則で禁じられています。

企業では年1回、必ず全従業員に健診を行うことが義務付けられています。労働者は健診を受ける義務があり、労働基準局が厳しく監視しています。

私は高校の校医もしており、毎年春には学校の健診に出務します。学生や社会人は社会制度として定められた健康診断を受けなくてはなりません。一方、最も健診の機会が少ないのは専業主婦だそう

**企業健診** 労働安全衛生法や労働安全衛生規則で事業主が実施を義務づけられている一般健康診断。雇い入れ時の健康診断、定期健康診断、特定業務従事者の健康診断、海外派遣労働者の健康診断、給食従業員の検便などが定められている。

です。このはさまを埋めるように、主婦を対象とした健診を行っています自治体もありま

法律で定められた健診と、自分自身の意思で全額自己負担で受ける健診があります。

法定健診と任意健診は、自動車保険にたとえれば自賠責保険

ただ、世の中には実にいろんな検査があります。がん

感と任意保険の違いのような感じでしょうか。

企業健診は生活習慣病の早期発見に重点を置いており、がんはあまり対象としていません。しかし、2人に1人は

がんにかかるといわれている現在、がんを早期発見するためには、法定健診のみでは難しいです。このため、さまざまながん検診や人間ドックがあり、気軽に利用できま

ひよこ